

# 主基地方風俗舞【すきちほうふうぞくまい】



開催場所

宗像市田島 2331

開催日

宗像大社、辺津宮

4月1日・4月2日

・10月1日～10月3日

指定

市町村指定無形民俗文化財

## 【芸能の特徴】

主基地方風俗舞は、昭和3年、天皇御即位の大礼(大嘗祭)に際し、福岡県に主基斎田が定められたのを記念してつくられた。全国で唯一、宗像大社に伝承・保存され、氏子の田島青年団により奉納される習わしとなった。

昭和15～27年まで、戦争で中断したが、昭和53年には、主基地方風俗舞保存会が結成された。現在、会員は50余名をかぞえる。

## 【使用する祭具・道具など】

笏(しゃく)の音頭で龍笛が吹かれる。ときには箏(しちりき)が1名加わることもある。

## ・アクセス

宗像大社前バス停車 徒歩5分

## ・周辺の観光

赤間宿跡、宗像ユリックス、山田地蔵尊

正助ふるさと村

いきいきフェスタ(1月)

菜の花の昭和大典(陛下御即位の大礼、大嘗祭)に新穀を奉獻する斎田を、悠紀地方は滋賀県、主基地方は福岡県早良郡脇山村に定めたことを記念し、主基地方の地元の風俗を紹介するため募集された風俗歌を、宮内庁雅楽部で作曲。舞の加わる主基地方風俗舞として奉納。<>元来、伝承を禁じられていたが、宮内庁の命により唯一「神郡宗像」の宗像大社に伝承保存が認められた。氏子の田島青年団により奉納される慣わしとなる。

